令和二年度大学院入学試験問題
（中期募集）

学校教育専攻

学校教育深化コース（文理深化領域　国語分野）

注意事項

1　問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙のおもて面に解答を記入することとし、裏面に記入してはいけない。

2　［一］国語科教育、［二］国語学、［三］国文学、［四］書写書道の4科目から1科目を選択し、選択した科目名を解答用紙の表紙に記入すること。

3　解答用紙は、当該問題用のものを使用すること。

4　受験番号は、解答用紙の表紙、及び選択した問題の解答用紙にのみ記入すること。

5　試験終了後は、すべての解答用紙を回収する。問題用紙は持ち帰ること。

［一］国語科教育

1　平成二十九年三月に告示された中学校学習指導要領では、語彙を豊かにする指導の改善・充実を図ることが求められている。このことについて説明を加えながら、中学校における授業づくりの方法や指導上の留意点についてあなたが考えることを具体的に論じなさい（六〇〇字以内）。

2　次の３つの中から２つを選び、それぞれについて説明しなさい。具体例を挙げてもよい。

（1）　他教科等との関連についての配慮事項

（2）　「精査・解釈」（「読むこと」の指導事項）

（3）　「行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書く」活動を組織する上での留意点

[二] 国語学

1　日本語が母語である子どもに日本語を教える際と、日本語が母語でない子どもに日本語を教える際とでは、教え方にどのような共通点・相違点があるか、あなたの考えを述べなさい（六〇〇字以内）。

2　次の４つの中から２つを選び、答えなさい。

（1）　動物の鳴き声と人間の言語の共通点・相違点は何か、説明しなさい。

（2）　「踏切が閉まると中に入らないでください」という文が持つ文法上の問題点は何か、説明しなさい。

（3）　話し言葉と書き言葉にはどのような違いがあるか、説明しなさい。

（4）　現代社会における方言の価値について、複数の観点からあなたの考えを述べなさい。

[三] 国文学

1 文学作品の読解を助ける注釈のあり方について、あなたの考えを具体的に述べなさい（六〇〇字以内）。

2 次の詩は、宮沢賢治の「松の針」（『春と修羅』大正一三年）である。この詩の内容を簡潔に説明したうえで、主題や表現の特徴などについて述べなさい。時代状況や作者について言及してもよい。

松の針

さつきのみぞれをとつてきた
　あのきれいな松のえだだよ
おお　おまへはまるでとびつくやうに
そのみどりの葉にあつい頬をあてる
そんな植物性の青い針のなかに
はげしく頬を刺させることは
むさぼるやうにさへすることは
どんなにわたくしたちをおどろかすことか
そんなにまでもおまへは林へ行きたかつたのだ
おまへがあんなにねつに燃され
あせやいたみでもだえてゐるとき
わたくしは日のてるところでたのしくはたらいたり
ほかのひとのことをかんがへながら森をあるいてゐた
《ああいい　さつぱりした
　まるで林のながさ来たよだ[注1]》
鳥のやうに栗鼠（りす）のやうに
おまへは林をしたつてゐた
どんなにわたくしがうらやましかつたらう
ああけふのうちにとほくへさらうとするいもうとよ
ほんたうにおまへはひとりでいかうとするか
わたくしにいつしよに行けとたのんでくれ
泣いてわたくしにさう言つてくれ
　おまへの頬の　けれども
　なんといふけふのうつくしさよ
　わたくしは緑のかやのうへにも
　この新鮮な松のえだをおかう
　いまに雫もおちるだらうし
　そら
　さわやかな
　terpentine（ターペンティン）[注2]の匂もするだらう

注1　まるで林のなかに来たようだ
注2　松脂から作られた精油

［四］書写書道

1　書写指導のあり方について、文字の機能（伝達性や表現性など）を考慮しつつ、述べなさい（六〇〇字以内）。

2　次の４つの中から２つを選び、書写書道もしくはその教育的観点から説明しなさい。

（1）点画の終筆の特徴

（2）古隷

（3）継色紙

（4）教科書体

※必要な場合、解答用紙の枠の範囲内において図示することを認める。